



電子版機関紙 122号

発行責任者 瀬下 啓司

県連サイト <https://www.rosansaitama.com/>

三役会議題

参加者:瀬下、上野、橋本、岩岡

- ・6.28の登山道整備の取り組みについて報告があった。
- ・2025年原水爆禁止国民平和大行進に7.17に北本で参加する予定が報告された。
- ・全国連盟から5年に一回の労山会員証の更新に当たっての点検依頼があったことと、埼玉県連はお断りしたことの報告があった。
- ・6月21・22(土日)に開催した組織活動研究合宿の検討内容を2026年度方針に活かしていくことを前提に、7.23理事会への提案内容の検討をおこなった。
- ・8.31評議会(午後開催)の日の午前に予定しているミニ講座の企画内容を検討した。
- ・次回三役会:2025年8月6日(水)

全国連盟

・第27回自然保護講座in青森 9/27(土)～9/28(日) 岩木青少年スポーツセンター(青森県弘前市)

メインテーマ 大型風力発電による自然破壊・環境破壊

講師 佐々木邦夫氏 北海道大学非常勤講師・北海道風力発電ネットワーク代表

参加費 8,000円(1泊2食) 9/27(土)講演会・地方連盟報告など 9/28(日)岩木山登山(交流山行) 瀬下参加

・若手のためのクライミング講習会

10/4(土)～10/5(日) 小川山・廻り目平周辺 宿泊 金峰山荘 対象～50歳くらいまでのリードの基本技術を身につけている人 講師～日本勤労者山岳連盟所属の10名 参加費 7,000円(1泊2食)

募集人数15名、申込みは全国連盟へ9/3(水)まで

・第19回全国登山者研究集会 11/15(土)～11/16(日) 新大阪ユースホステル(大阪府大阪市)

11/15(土)12:30受付開始 基調講演①「これからの労山」川嶋高志(全国連盟理事長) 基調講演

②「登山寿命の延長」石川昌(全国連盟副理事長・遭難対策部長) 分科会① 懇親会

11/16(日) 分科会② 全体討論・まとめ

分科会:「筋トレ」～筋肉トレーニングによる転落事故防止と登山寿命の延長、快適な登山について

「教育」～市民が求める多様な登山要求への組織体制と教育システムについて

「自然保護」～自然保護活動の推進について(大規模開発の問題点)

参加費 6,000円(1泊2食) 宿泊 新大阪ユースホステル 参加申込～別紙申込書にて全国連盟事務局へ、申込締切10/14(火) 瀬下参加。できればもう1名理事の参加を。

県連全体

- ・関東ブロック役員交流会 9/6(土)～9/7(日) 茨城県つくばふれあいの里 瀬下参加。なるべく複数の理事で参加したい。
- ・東京都連盟創立60周年記念行事 10/25(土) 東京都千代田区損保会館
記念講演会①平山コージ氏「クライミングにおける冒険性」12:00～14:00、記念講演会②佐々木大輔氏「スキー片手に世界の僻地を旅し、学んだこと」14:20～16:20、懇親会17:00～19:30
参加費 講演会1,000円、懇親会4,000円
- ・埼玉労山組織活動研究合宿を受けて 6/21(土)～6/22(日) 群馬県前橋市 理事山中さん別邸 埼玉労山理事会合宿 討論のまとめ
- ①埼玉労山の組織を委員会活動中心のものに変えていく。理事は各委員会の長が務め、少数精鋭で運営する。
- ②理事長、事務局長、専門委員会の長などには、活動謝金を出す。また、全国連盟の会議等に役職の必要から出席しなければならない時は、日当を出す。対象範囲、金額、予算項目等詳細については、理事会、会計担当理事と相談しながら、連盟費を値上げしない形で、どうしたら捻出できるか検討する。
- ③遭難防止・安全教育、ハイキングの各委員会で有料の講習会を実施する。参加者からは受講料をもらい、講師には謝金を支払う。
- ④③の委員会が主催する講習会については、埼玉労山の魅力と活動を若い人を含む広い層に知ってもらい、新規の会員獲得を目指すため、労山会員以外の方も参加できるようにする。また、若者への発信を強化するため、講習会の内容はホームページ以外の各種SNSでも発信していく。
- ⑤各会が集まって討議する機会は年1回の総会とする。(ただし臨時総会の召集要請があった場合は別。)
- ⑥ブロック活動については各ブロックの意見を確認しながら今後の方向を検討する。
7月の理事会から今後の埼玉県連盟のあり方について本格的に議論していく。会員の高齢化、会員減少の中、次世代を担う人たちに希望をもってもらえる組織にしていきたい。

事務局

- ・取り組み報告や理事会レジメの作成と理事への配信
- ・全国連盟などからの情報提供の各加盟団体への配信など
- ・加盟団体の「会報」の各加盟団体への配信
- ・理事会、講習会などの会場確保

財政

- ・各山岳会から納入される連盟費の管理
- ・昨年度の支払い交通費は次のとおり(埼玉労山組織活動研究合宿後の検討材料として)
総会45,010円、評議会17,000円、代表者意見交換会22,190円、理事年間交通費78,086円

組織

ホームページ

ろうさん彩登121号掲載

登山学校

6/30運営委員会、7/5地図読み机上講座市民会館おおみや、7/6実技講座「高水三山」開講、次回9/1運営委員会予定、9/6岩登り初級机上講座市民会館おおみや予定ナイトハイク体験「天覧山」予定9/7実技講座予定

自然保護

・高篠峠植樹地下草刈り

5/25(日)に予定していた今年度1回目の下草刈りは雨天のため残念ながら中止とした。10/19(日)実施予定の秋の下草刈りにご協力をお願いいたします。

・グリーンハイク

全国一斉実施日6/1(日)。6/1(日)の実施でなくても大丈夫です。実施した会はブロックごとに結果を瀬下まで報告をお願いいたします。実施日、実施場所、参加人数、ゴミの量(kg)(可燃ゴミ、不燃ゴミ)

中部ブロック、南部ブロックは偶然実施場所が同じ越生の大高取山となった。山頂では短い時間であったが交流もあり楽しい時を過ごした。

・登山道整備

6月28日冠岩沢登山道整備 参加者:4会、11人 9:15-12:15 約20カ所の倒木を切断、移動して整備した。無事に終了。今回は、車道部分に4カ所新たな倒木ができ、撤去するにチェーンソーを利用したが、時間を要す。

・7月24日に自然保護委員会(オンライン)の予定。

海外

海外委員が海外山行を行っていたこともあり、県連総会以後、委員会活動はなにもないが、近々会議を開き、海外山行報告会の開催に向け準備を始める。また、来年の海外山行の企画についても検討する。

ハイキング

・4/23(水)の理事会での会議後は月に1回程度LINEにて会議を実施する。次回会議は9/8(月)。

・谷川岳山開き(2025.7/6日曜日)(群馬県連盟協力)に参加する。理事会から瀬下、岩岡が参加。上里ハイキングクラブより4名の参加。登山は往復ロープウェイを利用して天神尾根コース(岩岡、上里の計5名)。瀬下は群馬県連盟が手配した登山ガイドによる天神平散策ツアーに参加予定。今年も登山会員証を提示することでロープウェイ料金が半額になる。来年度以降の参加も見据え、下見を兼ねた山行としたい。

・この他、今年度はバスハイク(2026年2月または3月)のほか地図読み講習山行(11月30日の日曜日・正丸周辺)などを予定している。

遭難防止安全対策

2025/6/29 沢のセルフレスキュー研究会 奥多摩・鷹ノ巣沢 7/12岩のセルフレスキュー研究会
9/27-28 沢登り教室第2弾 赤木沢

救 助 隊

7/6(日) 新入隊の秋和隊員、越前隊員と町田で訓練を行いました。
○マルチ懸垂下降 ○マルチチェーン利用の介助懸垂下降 ○フリークライミング
場所はクライミングさいたまメンバーで開拓した。 非公開岩場です。

ブロック活動報告

	会議日程		
西部	7月10日	大下	7月10日(木)19時半～ウエスタ川越内 南公民館にて第二回定例会議 クリーンハイクの報告 補助金の使い方 鍋交流(11/9巾着田の河原)について話し合う。観光バスを使っの会山行が難しくなっている事から、各会の状況を報告してもらう。次回会議2025.9/11
南部	6月19日	富田	6月19日にブロック会議を行った。グリーンハイクの報告では、「山にゴミは見られないが、この活動は、あり方については考える必要があるが、続けていくことが大事である」とのことに一致。また、10月19日に、交流ハイキングを行うことをきめた。次回会議2025.8/21
中部			次回会議2025.10/2(木)LINEグループ会議19:00～。 今年度はグリーンハイク、地図読み山行、交流ハイキング、雪山山行を実施予定。
北部		梅澤	

■議題■

○ 埼玉労山・組織改革の方向について
・6月21～22日(土日)の合宿の議論を受けて作成した『埼玉労山・組織改革の方向について(若者を迎え入れ、組織を活性化させるために)』に、分かりやすいように、文章に小見出しをつける。 60代、70代で頑張っている人への応援のことばも大事なので、山中さんが2章の中で加筆する。
・上記文書について8月31日の評議会に諮る。
○ 8月31日(日)評議会について
・「開催案内」と「議事進行表」を確認した。
○次回 理事会日程:2025年9月24日(水)場所:浦和コミセン第10集会室 司会: 記録:

○次回 理事会日程:2025年9月24日(水)場所:浦和コミセン第10集会室 司会: 記録: